

1 住民参加の推進について

(1) 地域自治の取り組みについて

自治会・自治会連合会の組織と運営の現状と課題、行政の役割について伺う。

協働の取り組みについて、成果と課題を伺う。また、NPO組織など市民活動について現状と課題を伺う。

自治会とNPOなど市民活動団体との連携について、現状認識と取り組みを伺う。

自治会・地区社協・民生委員などを統括する地域福祉を中心とした仕組みづくりについての認識を伺う。また、地域自治に関する行政の窓口一本化についての考えを伺う。

地域で活躍する人材の現状について認識を伺う。また、市民への地域活動の動機づけ・機会提供の取り組みを伺う。

(2) まちづくりへの住民参加の推進について

住民参加について、当局の基本的な考えを伺う。

市政モニター制度は住民参加の一環と認識するが、この制度による成果を伺う。また、この制度を発展させる考えを伺う。

JR新駅について、市民への広報および市民認知度の現状はどうか。また広報広聴の今後の進め方を伺う。

磐田市内にJR3駅が出来る。この活用について市民意見の収集、企画への住民参加を積極的に進める考えはあるか。

2 中長期課題について

(1) 財政課題について

磐田市財政の現状と今後の見通しについて当局の認識を伺う。

平成25年7月に策定した中期財政見通しの見直しが必要と考えるが当局の考えは。

将来的な投資・ランニングコストなどの想定を含めた公共事業・公共施設の規模、投資の優先順位などを検討し市民と共有する必要があると考えるが認識は。

民生費の増加が財政を圧迫している現状についての認識は。また医療費・介護費用の削減もしくは抑制目標を定めた取り組みについて伺う。

(2) 中長期の計画について

H29年度以降の総合計画策定の進め方について伺う。また現在の行革大綱はH26年までだが、その後の進め方および総合計画との関連を伺う。

市民の参加による長期ビジョン策定で、行政への市民の関心・関与を高める必要性の認識を伺う。

(3) まちづくりについて

防潮堤による津波災害の防止は最重要課題であるが、観光資源としての海や海岸の有効活用や景観などを配慮した進め方が必要と考える。当局の認識を伺う。具体的な事例として、福田漁港には、観光資源としての付加価値を持つ避難タワー建設を進めている。竜洋海洋公園においても、景観やキャンプ場としての機能、トライアスロンやモータースポーツなどのイベント機能があり、防潮堤などによる防災機能との両立が必要と考えるが認識を伺う。

見付や岩井地区の国一バイパス南側では、民間の住宅地開発が進められている中で、農地と住宅地が混在する状況になっている。この地区における今後の土地利用の考え方を伺う。

将来の公共交通について研究を行う考えは。例えば、パークアンドライドを活かした拠点間を結ぶ公共交通やEVを使った環境に優しいまちづくりなども研究する価値があると思うが当局の考えを伺う。